

平成 28 年 12 月 10 日

P T A 第 5 回運営委員会

あしたのあさひ



～ P T アクションと校長室をつなぐ～

県立旭高等学校長 古谷康司

11 月のクリーンアップ作戦では、多くの保護者の方のお力で、C 棟の壁が見違えるようにきれいになりました。参加していただいた皆様にお礼申し上げます。

「親子で輝く」という P T アクションのねらい通り、ペンキを塗りながら、ボランティアで参加した生徒と、いろいろな会話ができていたようです。また、お昼の温かいうどんも素晴らしい企画で、とてもおいしかったです。

トイレがきれいだと、安心して学校生活を過ごせると、良く聞きます。きれいなことを生徒自身が誇りに思い、気持ちよく学べる旭高校であり続けたいと思います。

今年度も、生徒の活躍が高い評価を受けました。体育大会をはじめ、生徒の活動を盛り上げてきた生徒会と、学校の特色であるボランティアに登録して活躍してくれた生徒が、教育委員会表彰を受けることになりました。

旭高校には、まだまだ縁の下の力持ちがたくさんいます。一人でも多くの生徒が輝き、花開き、また互いの努力を認めあえるように、日々の活動をきめ細かく見守り、花を咲かせてまいります。

女子バスケットボール部がウインターカップ連続出場を果たしました。全国大会での勝利を目指して頑張っています。旭高校の校歌が大会に参加するチームを応援し、背中を押してほしいと思います。また、卒業後もこの校歌で、いつまでも旭高校の仲間がつながっていくことを期待しています。

国際交流を意識した取組を進めています。台湾の高校と、11 月 25 日に女子バスケットチームが交流試合を行いました。また、韓国的高校とは、12 月 15 日には一緒に授業を受け、部活動にも参加してもらう交流を予定しており、そのほかにもテレビ電話を利用した継続的な交流を計画しています。

旭高校では、中国語や韓国語を学ぶカリキュラムはありませんが、英語を通して、国や文化が違う高校生同士で会話をし、新しいことに気付き、未来を切り開く力を身につけることを楽しみにしています。国際交流を通して旭高校の生徒が、世界を視野に入れて、学び続ける人として成長することを期待しています。